

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	05-01-02-07
事務事業名	備前地区ふるさとづくり基金活用事業		
事業開始年度	平成18年度		
大項目	基本目標	問合せ先	担当課(室) 企画課
中項目	基本施策	職・氏名	協働推進係長 下林博樹
小項目	施策	電話	64-1806

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	備前地域の区会・町内会及び各種団体
目的(何のために)	備前市ふるさとづくり基金を活用し、明るく、個性豊かで、活力ある地域づくり、ふるさとづくりを行う団体に対し、その事業に要する経費について補助金の交付をし、もって市民協働のまちづくりを推進することを目的とする。
行政活動(どのような方法で)	1 地域おこし事業 (あわせて15,000千円を限度額とする) ふるさとづくり事業(ハード 補助率100% 補助期間3年まで 限度額補助期間内15,000千円) 地域イベント等事業(ソフト 補助率90%以内補助期間5年まで 限度額各年3,000千円) 2 助成事業 1,000千円を限度(補助率3分の2以内 限度額1,000千円)
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	それぞれの地区で市民が知恵を出し合ってまちづくりを実施することにより市民協働のまちづくりを推進

事業の実績					
活動実績	実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	地域おこし事業申請	件	-	0	3
	助成事業申請	件	-	3	1
	直接事業費	千円	-	3,000	18,165
	人件費	千円	-	1,015	741
	事業費計	千円	0	4,015	18,906
	国県支出金	千円	-	-	-
	受益者負担	千円	-	-	-
	一般財源	千円	0	4,015	18,906
	必要人員	人	-	0.10	0.08
結果指標	結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	地域おこし事業申請	件	-	0	3
	結果指標量	件	-	0	3
	対前年比	%	-	#VALUE!	-
	活動コスト	円	-	0	18,014,000
単位当たりコスト	円	-	-	6,005,000	
結果指標	結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	助成事業	件	-	3	1
	結果指標量	件	-	3	1
	対前年比	%	-	#VALUE!	33.3%
	活動コスト	円	-	4,015,000	892,000
単位当たりコスト	円	-	1,338,000	892,000	

事業の成果			
成果指標名	地域おこし事業申請件数	式又は説明	申請件数
	17年度		18年度
成果指標量			19年度
対前年比		#VALUE!	133.33%
到達目標値	8	到達目標年度	平成20年度

事業の目的、対象、内容を考えてながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

(平成19年度事業)

事務事業の評価		妥当性評価<A-E>	B
目的	<input checked="" type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	課題認識	
	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である		
行政活動	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている	ふるさとづくり基金を活用し、地区で市民が知恵を出し合ってまちづくりを実施する事業に助成するもので、まちづくりの推進に有効な方法である。	
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している		
市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある	効率的性評価<A-E>	C
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない		
市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない	課題認識	
	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である		
コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である	補助事業対象となる備前地域の区会、町内会、及び各種団体は申請書類の提出等に不慣れなケースが多く、申請が出て1度では終わらない場合が多い。申請内容について、各区会町内会ではいろいろ検討しているようであるが、なかなか絞り込みが難しい状況である。	
	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい		
効率性の評価	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	有効性評価<A-E>	C
	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい		
手	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい	課題認識	
	<input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難		
職	<input type="checkbox"/> 事業に維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	市民にとって必要な事業であり、事業実施により市民協働がより推進される。	
	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている		
目的達成度	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	課題認識	
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている		
成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている		
	<input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい		
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである		
	<input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している		
市民参画度	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである		
	<input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある		
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している		
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している		
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		

平成20年度の状況		説明	広報等でPRを行っているが申請数が伸び悩んでいる。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	結果指標量 3	結果指標量	1
成果指標量	8	成果指標量	8

総合評価		評価区分<A-E>	C
町内会、区会へのPRはしているが、事業申請が伸び悩んでいる。平成21年度申請が最終年度となるため再度申請についてPRする必要がある。			

平成21年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input checked="" type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果